

令和7年度施行

設計書（公示用）

業務名 東区土木センター 構内除雪業務

令和7年10月設計

札幌市東区土木部

業務名 東 区 土 木 セ ン タ ー 構内除雪業務

一 金 業 務 委 託 費 円也
業 務 価 格 円也
内訳 消費 税 等 相 当 額 円也

業 務 説 明

1 . 業 務 の 目 的

本業務は、土木センター構内の除雪業務を実施するものである。

2 . 業 務 の 概 要

(1) 構内新雪除雪工 3,300 m² 13 回
(2) 構内運搬排雪工 940 m³

3 . 業 務 の 期 間

契約書に示す着手の日より、令和8年 3月27日までとする。

4 . 業 務 仕 様 書

別紙の通り。

業 務 仕 様 書

1 委託業務名

東区土木センター構内除雪業務

2 履行期間

契約締結日から令和8年3月27日まで

3 作業箇所

(1) 東区土木センター（札幌市東区北33条東18丁目）

除雪対象面積 3,300㎡

4 業務内容

(1) 除雪作業

ア 作業は、翌朝までの積雪量が概ね10cm以上となった場合に実施すること。

なお、日中降雪等により、委託者が必要とした場合は指示に従い速やかに作業を実施すること。イ 作業は、原則として早朝に実施することとし、午前7時30分までに完了すること。

ウ 除雪した雪の集積は、委託者が指定した場所に堆積すること。

エ 想定作業回数・・・13回

※ 作業回数については、東区土木センター所在地の生活道路新雪除雪設計回数と同一回数を想定している。

※ 業務期間中は作業が実施できる体制を常時確保すること。

(2) 排雪作業

ア 作業の実施時期、時間等については、委託者と協議のうえ決定すること。

イ 想定排雪量・・・940㎡

ウ 雪堆積場は上篠路地区雪堆積場を想定している。

5 使用機械

使用機械は、受託者の責において用意すること。また、機械の規格や車両ナンバー及び作業に従事する運転手名、必要な資格証の写し等を業務計画書に添付し、担当職員の承諾を受けること。

6 安全の確保

作業の実施にあたっては、従業員の事故防止に十分注意するとともに、作業中に発生した事故については、受託者が一切の責任を負うこと。

7 施設等の損壊

受託者の不注意等により生じた建物、工作物、舗装面及び車両等の損壊については、速やかに委託者に報告し、受託者において適切な処理を行い、一切の責任を負うこと。

なお、業務着手時と完了時に担当職員と受託者の両方で立会を行い、破損の有無について確認を行うこと。

8 業務報告（提出書類）

(1) 業務計画書

業務の実施に先だち、作業概要、作業工程、作業方法、現場組織、施工管理、安全管理、緊急体制、使用機械等について記載した業務計画書を速やかに提出すること。

(2) 除雪作業の実施報告（実施日）

除雪作業を実施した日については、実施時間と作業内容を記入した作業報告（任意様式）を速やかに土木センター宛（011-784-6418）にFAXすること。

(3) 除排雪作業報告書（月毎）

受託者は、各月完了後速やかに、除排雪作業報告書を提出すること。

なお、除排雪作業報告書には、作業実施日の業務日誌、車両運行記録紙、業務写真（着手前、完了）を添付すること。

また、排雪作業については、上記成果品のほか、排雪量が確認出来る書類を提出すること。

(4) 完了届の提出

受託者は業務完了後速やかに、完了届を委託者に提出すること。

9 環境への配慮

本業務の履行に際し、本市が取得した環境マネジメントシステムに準じ、以下の事項に注意を払う

など、環境負荷低減に努めること。

(1) 極力低公害車の使用に努めること。

(2) 急発進、急ブレーキの防止、アイドリングストップを徹底すること。

(3) 業務において使用する紙類などは極力環境に配慮したものとする。

10 その他

(1) 契約締結後、契約期間内における初回作業を行う前に、委託者と受託者との仕様及び別添図の除雪範囲について、現地で確認を行うこととする。その際、除雪作業を担当するオペレーターも必ず同席すること。

(2) 除排雪業務に関わる道具費、燃料費及び除雪場所までのタイヤショベルの移動経費等の諸経費については、委託料に含むものとする。

(3) 業務の一部を再委託する場合は、再委託承諾願を提出し、担当職員の承諾を受けること。

(4) 本仕様書に定めのない事項については、委託者と受託者双方で協議し、その処理を図ることとする。

令和 年 月 日

除排雪作業報告書（令和 年 月分）

受託者
住所
会社名
代表者名

印

下記の通り、令和 年 月分業務を完了したので報告いたします。

業務名 東区土木センター構内除雪業務

＜除雪＞ ※各作業に係るタコグラフチャートは別添のとおり

[illegible]

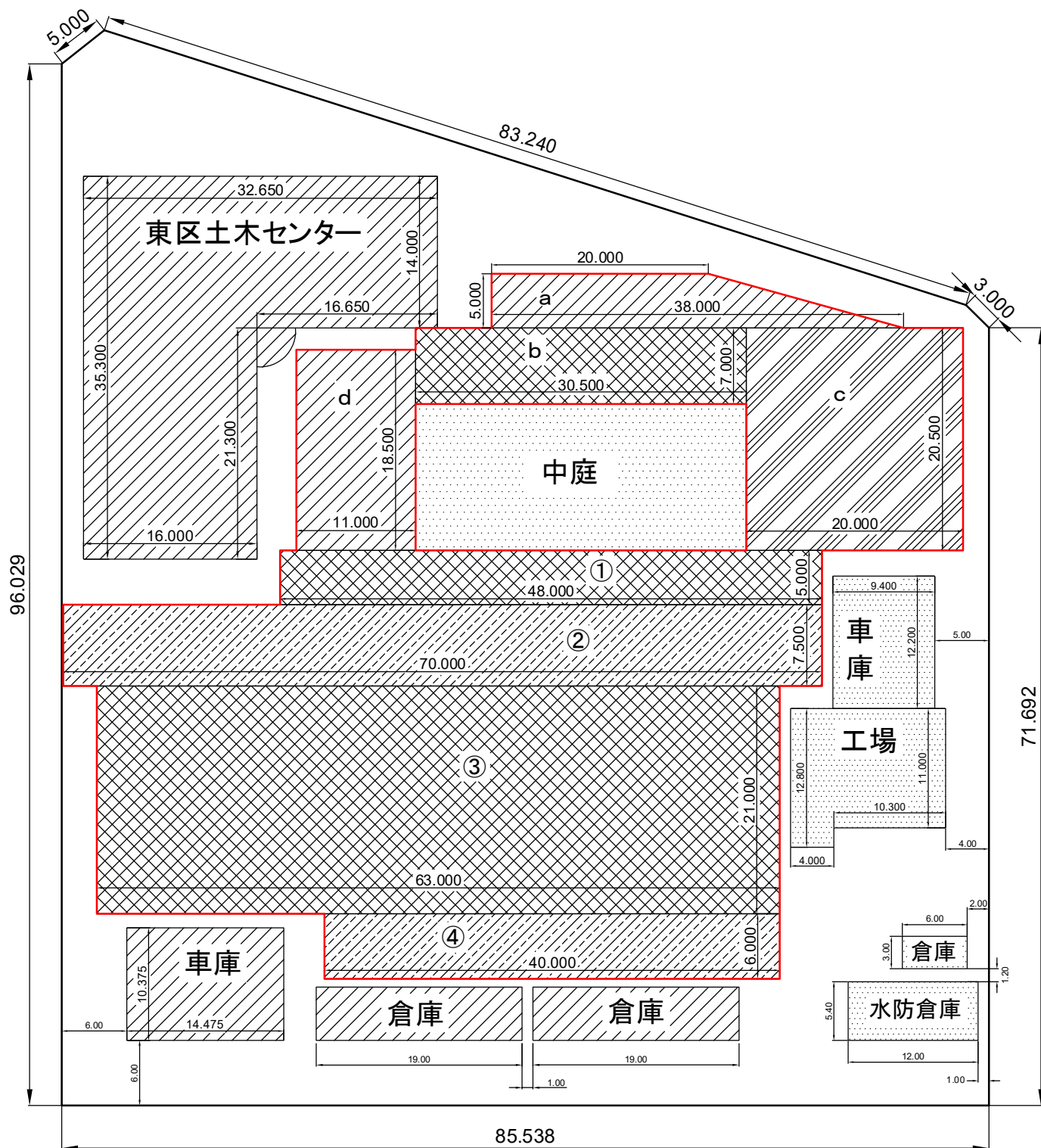
＜排雪＞ ※各排雪作業状況の詳細（写真等）は別添のとおり

[illegible]

業 務 日 誌

月 日	天候		始業	時 分	月 日	天候		始業	時 分
			終業	時 分				終業	時 分
1. 業務内容					1. 業務内容				
2. その他					2. その他				
職 務 別					職 務 別				
就業人員					就業人員				
累 計					累 計				
業務担当職員から現場代理人に対する指示 (承諾) 事項					業務担当職員から現場代理人に対する指示 (承諾) 事項				
業務担当職員氏名 現場代理人氏名					業務担当職員氏名 現場代理人氏名				

※ この様式は、必要に応じて適宜変更可能。



除雪面積
2,328.00㎡

- ① 48.00m × 5.00m = 240.00㎡
- ② 70.00m × 7.50m = 525.00㎡
- ③ 63.00m × 21.00m = 1,323.00㎡
- ④ 40.00m × 6.00m = 240.00㎡

除雪面積
972.00㎡

- a (20.00m+38.00m) × 5.00m ÷ 2 = 145.00㎡
- b 30.50m × 7.00m = 213.50㎡
- c 20.00m × 20.50m = 410.00㎡
- d 11.00m × 18.50m = 203.50㎡

総除雪面積 3,300.00㎡

業 務 委 託 費 内 訳 書

工 種	種 別	単位	単 価	原 設 計		設 計 変 更		摘 要
				数 量	金 額	数 量	金 額	
構内除雪業務								
	構内除雪工	式		1				内訳書No.1
直接業務費								
	共通仮設費	式		1				
共通仮設費								
純業務費								
	現場管理費	式		1				
業務原価								
	一般管理費	式		1				
業務価格								万単位止め
消費税等相当額		式		1				
業務委託費								

構内除雪工内訳書

原設計金額
変更設計金額
増減額

円
円
円

内 訳 NO. 1

名 称	規 格	単位	原 設 計				単価 番号	設 計 変 更				単価 番号	備 考
			単 価	数 量	回 数	金 額		単 価	数 量	回 数	金 額		
構内新雪除雪工		100m ²		33	13		1						
構内運搬排雪工	運搬距離7.0km R積み	m ³		940	—		2						
合計						0							

単 価 算 出 調 書					
単価 番号	名 称	形 質	単位	単 価	算 出 基 礎
1	構内新雪除雪工	業持S (1.4～2.0m ³) 助手なし	100m ²		$100 \text{ m}^2 \div 2.0 \text{ m} \div 1,000 \times \text{円/km} = \text{円}$ (除雪幅)
2	構内運搬排雪工	業R積(助手なし) 業持S(助手なし)	m ³		運搬費(昼間, 雪出適用) 運搬距離 7.0 km 円/m^3 排雪費 (業持) ロータリー除雪車 160kw(220PS) $\times 4.8 =$ (業持) タイヤショベル 1.4～2.0m ³ $\times 4.9 =$ 小計 円/日 $\div 4,160 = \text{円/m}^3$ 運搬費+排雪費 $+$ $= \text{円/m}^3$
	共通仮設費		式		諸経费率 200万以下 9.10 % 200万～1億 Kr= 4118.1 $\times$ 対象額 ^{-0.3548} $\times 0.38$ 対象額 円 諸経费率 9.10% 諸経費= $\times 9.10\%$ 円以内
	現場管理費		式		諸経费率 200万以下 40.42 % 200万～1億 Kr= 613 $\times$ 対象額 ^{-0.1598} $\times 0.67$ 対象額 円 諸経费率 40.42% 諸経費= $\times 40.42\%$ 円以内
	一般管理費		式		諸経费率 500万以下 23.57 % 500万～30億 Kr= (-4.97802 $\times$ log対象額+ 56.9210) $\times 1.00$ 対象額 円 諸経费率 23.57% 諸経費= $\times 23.57\%$ 円以内